

「令和元年度 第1回大月みらい協議会」 会 議 概 要

- 日 時 平成31年4月24日（水）午後7時から午後9時まで
- 場 所 大月市役所 本庁舎3階委員会室
- 出席者 委員18名（欠席4名）、オブザーバー1名
委員 小笠原則雄、長田弘、小俣理美、久嶋敏明、小林聡、三枝良光、
佐藤總明、清水一力、志村淳、白川恵子、白川太、鈴木龍子、中島啓介、
三木範之、三富聖久、矢光重敏、山口隆太郎、武者稚枝子
オブザーバー 佐藤茂幸 （※敬称略）
- 【市】 石井市長、石井副市長、井上教育次長
- 【事務局】 兼子総務部長、井上企画財政課長、久保井地域活性化担当リーダー、堀内、
後藤

1. 委嘱状の交付

2. 石井市長あいさつ

本日は、お忙しい中、委員の皆様にはご出席をいただきまして誠にありがとうございます。また、日頃から市政運営に対し、特段のご理解とご協力をいただくとともに、今回で3期目を迎える「大月市人口問題・地域活性化を考える市民会議」、愛称「大月みらい協議会」の委員へのご快諾をいただき、深く感謝を申し上げます。

大月みらい協議会は、本市の人口問題及び地域活性化について、幅広い視野からの意見を求め、対策について検討するため、平成27年1月に設立し、これまで多くの提言をいただき「大月市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定や効果検証などに携わっていただきました。

また、前期（平成29・30年度）は2年にわたって「官民が一体となったふるさと教育を大きく育て上げるようなあり方」について、協議・実践・検証を重ねていただき、本年3月には成果発表会を行うなど、精力的な活動に対して深甚なる敬意と感謝を表すものであります。

本市では、平成30年3月に「大月市第7次総合計画」を策定し、市民と行政が互いに情報を共有し「信頼と協働」を構築することが重要であることから、その「基本理念」を前計画に引き続き、「信頼と協働のまちづくり」とし、新たな「まちづくりの将来像」を「ひとと自然を生かし、希望の持てる未来をみんなで実現していくまち大月」と定め、この将来像の実現に向けて市政の推進に努めております。

人口問題及び地域活性化は、行政だけで到底解決できる問題ではなく、企業や市民の皆様とともに議論を進めて行く必要があると考えております。

まさに、この大月みらい協議会が「協働の活動」であり、市民と行政がお互いに協力し合うこと、また、この協力によってお互いの信頼をさらに積み重ね、育むことが「地域の活力」につながるものと考えております。今年度より新たに9名の委員をお迎えし、22名の皆さままで3期目のスタートを切る運びとなりました。

将来の大月市に、明るく希望が持てますよう「市民目線」でのご意見をいただくとともに、市の活性化に、より一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げまして、簡単ではございますが、挨拶とさせていただきます。よろしく願いいたします。

3. 委員紹介

4. 職員紹介

5. 議事

(1) 前期大月みらい協議会の取り組みについて

- 志村議長の進行で、佐藤副議長より前期大月みらい協議会の取り組みについて説明があり、内容について確認が行われました。

(2) 議長及び副議長の選任について

- 今期の議長に小俣理美委員が、副議長に山口隆太郎委員が選任されました。

(3) 今後の進め方について

- 小俣議長の進行で、委員全員が今後の進め方について意見を述べました。
- 小俣議長より、前期から取り組んでいる「ふるさと教育」のうち、「職場体験」、「学童クラブ」、「情報発信」の3つの事業については、今期も継続して取り組んでいくことが了承されました。
- 継続する事業の詳細な進め方や新たな取り組みについては、次回以降たたき台を提示し、議論していくこととなりました。

(4) その他

- 次回会議については、議長及び副議長と日程調整させていただき、5月下旬から6月上旬頃を目途に開催する予定です。確定次第ご案内することとなりました。